

題：インターネット時代における新聞・雑誌の必要性

名前：

今日の社会において、インターネットは欠かせない存在となった。いつでもどこでも、ネット環境さえ整えば、無料で情報を手に入れられるようになったのである。情報量の充実、情報の更新速度という点において、インターネットは他の情報源をはるかに上回っているだろう。

では、新聞や雑誌は最早不要の存在となってしまうのだろうか。私はそうは思わない。インターネットに独自の良さがあるのと同様に、新聞や雑誌にも独自の良さがあるからである。

その一点目は、情報の信頼性の高さである。インターネット上には優れた情報も多いが、不正確な情報や悪意のある情報も見受けられる。これはインターネットの匿名性が原因であろう。一方、新聞や雑誌においては、記者が責任を持って記事を担当している。不正確な記事を書いてしまうと社会的責任が生じるから、情報の裏づけを取るように努めている。

こうして提供される正確な情報は、今後も必要不可欠と言える。

二点目は、保存のしやすさである。インターネット上の情報はいつの間にか消える。都合の悪い内容を書いてしまったときに、慌てて消すことも可能だ。しかし、新聞や雑誌はそうではない。保存しておけば、どんな古いものであっても読み返せる。それに、一度書いた内容は決して消すことができないので、執筆者も慎重に情報を提供するのである。

上に挙げたような利点があることから、今後も新聞や雑誌は必要とされるだろう。情報の受け手である私達も、様々な情報源を使い分けていくべきだ。